

# はじめに

## 1 第2期戦略プランの性格と役割

この戦略プランは、平成20年3月に策定した「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」の基本計画（計画期間おおむね10年）に掲げた施策展開の基本方向に基づき、農業・林業・水産業各分野における重点的かつ集中的に実施する具体的な取り組みを示した、第2期の行動計画です。

第1期での取り組みの成果や課題、農林水産業を巡る情勢の変化等を踏まえたうえで、課題を絞り込んでプロジェクト化し、地域の関係者などが一体となった取り組みを展開します。

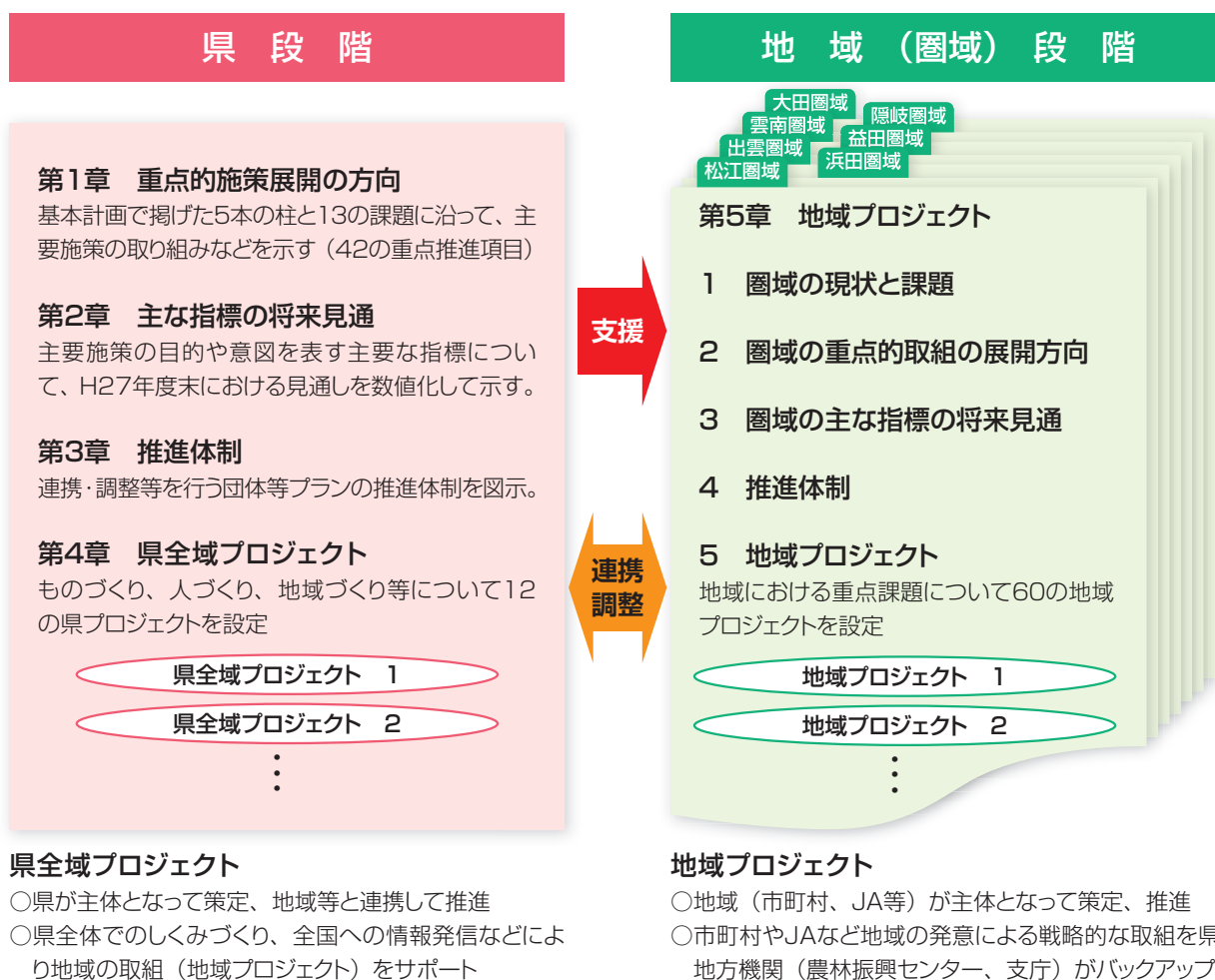
持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現に向け、県民や農林漁業者、関係機関・団体、行政が連携・協働して取り組むための共通の行動計画として活用されることを期待しています。



## 2 第2期戦略プランの構成と期間

基本計画で掲げた5本の柱と13の課題に沿って、県の主要施策を示した重点的施策展開の方向等と、施策展開の具体的な取組として、県が主体となり地域と連携して推進する県全域プロジェクト及び農林水産関係団体や市町村等の地域が主体となって推進する地域プロジェクトで構成し、平成24年度から平成27年度までの4カ年を計画期間とします。

また、各プロジェクトでは、取組の成果を客観的に把握でき、プロジェクトメンバーをはじめとする関係者が共通の意識・目的を持つとともに、的確な進行管理ができるよう、数値目標を設定しています。



## 3 戦略プラン推進の基本姿勢

戦略プラン推進にあたっては、現場の関係者による徹底的な話し合いの下に、問題や課題、推進方向等の共有化を図り、「いつ」、「どこで」、「誰が」、「何を」を明らかにして進めます。

また、PDCAサイクル等を活用して進行管理を徹底し、取組の成果と課題を踏まえた計画の修正や新たな課題に対するプロジェクトの新設など、地域の実情やニーズに応じた見直しを随時行い、柔軟かつ機動的な対応を図ります。